

機械器具(56) 採血又は輸血用器具
動脈採血キット JMDNコード: 31336000
管理医療機器

ラピッドライト

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止。
注射には使用しないでください。

**【形状・構造及び原理等】

本品は血液ガス分析用に動脈血を採取するための検査用採血器具です。

本品は外筒、押し子（プランジャー）、及び採血針からなります。

本品の外筒はルアースリップ型とルアーロック型の2種類があります。

本品の最大容量は1mLと3mLの2種類があります。

本品の採血針は22G、23Gと25Gの3種類があります。

本品には抗血液凝固剤としてヘパリンリチウム又はバランスヘパリンが添加されています。

採血針の原材料はステンレス鋼です。



*ルアースリップ型

容量/ 針サイズ	ヘパリン 量	タイプ	推奨 採血量	付属品	品目コード
3mL/22G	70単位	バランス	2mL以上	フィルターキャップ、 ニードルストッパー	05903988 (10336808)
3mL/22G	70単位	バランス	2mL以上	ニードル保護具、 フィルターキャップ	06812943 (10338147)
3mL/22G	42単位	リチウム	1.5mL以上	フィルターキャップ、 ニードルストッパー	00432189 (10331491)
3mL/22G	42単位	リチウム	1.5mL以上	ニードル保護具、 フィルターキャップ	05168986 (10336122)
3mL/23G	42単位	リチウム	1.5mL以上	ニードル保護具、 フィルターキャップ	08458462 (10339610)
1mL/25G	14単位	リチウム	0.7mL以上	フィルターキャップ、 ニードルストッパー	04913947 (10335792)
1mL/25G	14単位	リチウム	0.7mL以上	ニードル保護具、 フィルターキャップ	03487251 (10334467)

*ルアーロック型

3mL/22G	42単位	リチウム	1.5mL以上	ニードル保護具、 フィルターキャップ	00543967 (10331618)
3mL/23G	42単位	リチウム	1.5mL以上	ニードル保護具、 フィルターキャップ	02075294 (10333013)
3mL/23G	42単位	リチウム	1.5mL以上	フィルターキャップ	06380806 (10337291)

*【使用目的又は効果】

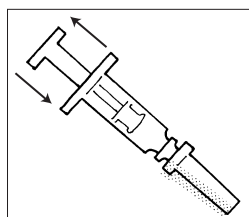
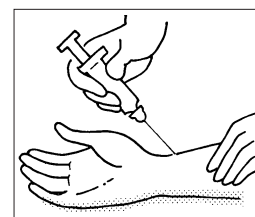
本品は血液ガス分析のための動脈血採血用に使用します。
本品は、滅菌済であり、直ちに使用でき、1回限りの使用で捨てます。

*【使用方法等】

1. 使用方法

(1) 動脈血採血器（ルアースリップ型）

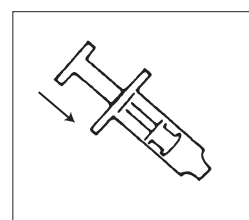
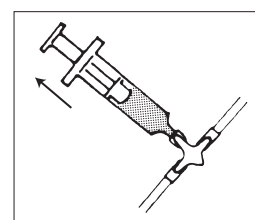
- ①採血部を消毒します。
- ②押し子を必要採血量の位置にセットしてください。
- ③動脈に穿刺します。



- ④動脈圧で筒内に血液が満たされたら針を抜いてください。
- ⑤シリンジを手にとって手首を20～30秒間、前後に回転させ、血液とヘパリンをよく混和します。採取後の検体は30分以内に測定ください。分析検体中に他の測定検体を含んでいる場合は時間調整が必要な場合があります。

(2) 動脈ライン採血器（ルアーロック型）

- ①押し子をいっぱい押し
- ②回路（三方活栓）に接続し、下げます。
- ③必要量を採取したら回路より取り外してください。
- ④シリンジを手にとって手首を20～30秒間、前後に回転させ、血液とヘパリンをよく混和します。採取後の検体は30分以内に測定ください。分析検体中に他の測定検体を含んでいる場合は、時間調整が必要な場合があります。



2. 付属品の用途

(1) フィルターキャップ

1) 使用目的

採血後、外筒の筒先に装着し、プランジャーを押して筒内の気泡を除去するために使用します。また、気泡を除去後フィルターキャップは検体を分析器まで運ぶ際に保護キャップとして利用できます。

2) 使用方法

- ①図1のように、フィルターキャップを外筒にしっかり押し込みます。

- ②外筒の端を上方へ向けて持ち、シリンジを軽くたたいて気泡を先端に移動させます。
- ③検体から空気を追い出すようにプランジャーをゆっくり押して気泡を除去します。
- ④フィルターが検体で濡れたらプランジャーの押し込みを止めます（図2）。圧力が高すぎるとフィルターキャップがシリンジから外れることがあります。
- ⑤フィルターキャップを付けたまま、ラベルを付け血液ガス測定装置のある検査室に運びます。

図1

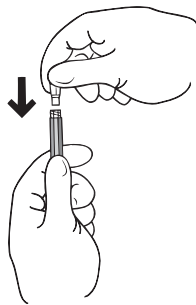
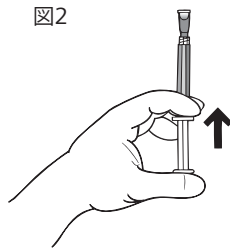


図2



3) 使用上の注意

- ・フィルターキャップが外れて血液が飛散する場合がありますので、プランジャーはゆっくり押してください。
- ・シリンジに針が付いている場合は、適切に廃棄ください。
- ・フィルターキャップの追加デッドスペースは0.10mLです。

(2) ニードル保護具(付属品に含まれる場合)

1) 使用方法

- ①ニードル保護シースに針の斜面が当たらないように、ニードルシースを適切な位置まで回転させます。
- ②ニードル保護具にニードルを真っすぐ押し込み、わずかにねじってしっかり固定します。
- ③ニードルから離すようにシースを真っすぐ引っ張ります。ニードルが緩むことがあるので、シースをねじらないでください。
- ④採血が終了したら、片手で平坦な面にシースをそっと押し付け（図1）シース内にニードルをしっかり収めてください（図2）。
- ⑤シース内にニードルが取り込まれたことを確認してください（図2）。
- ⑥医療上特に必要でない限り、ニードルを取り込んだニードル保護具をシリンジから取り外さないでください。ルアーハブを親指と人差し指で握って取り外します。この時、他の指は針先を入れた保護具の端から離すようにしてください（図3）。針にご注意ください。
- ⑦使用後のニードル保護具は直ちに鋭利物医療廃棄容器に破棄ください。

図1

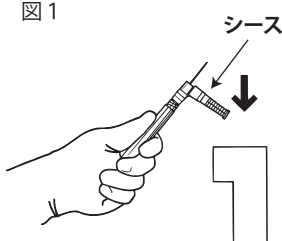


図2

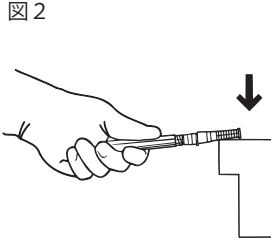
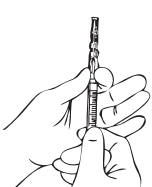


図3



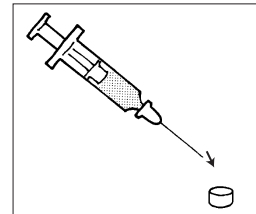
2) 使用上の注意

- ・術者が針先の角度を任意の位置に設定する際は、ニードル保護具をニードルキャップから側方に離すようにして、ニードルキャップを回しニードル先端の角度を決めてください。
- ・ニードルキャップを外す際は、真っすぐ手前に引くようにして外してください。その際、**キャップを絶対にひねらないでください**。ニードルが外れることがあります。
- ・ニードル保護具を取り外そうとすると、汚染針による針刺し事故の原因となることがあります。
- ・曲がったり、損傷したニードルの使用は患者組織への傷害や穿刺事故の原因となります。ニードルが曲がったり損傷している場合、ニードルをまっすぐにしようとしたり、ニードル保護具に取り付けようとしないでください。このようなニードルは、ニードル保護具を突き抜けて汚染針による針刺し事故の原因となることがあります。
- ・ニードル保護具の取り扱いを誤ると、特に短いニードルやサイズの小さいニードルが曲がることがあります。
- ・ニードル保護具の平均追加デッドスペースは0.075mLです。

注：ニードル保護具が付いていない採血器の場合、ルアースリップ部に対してニードルキャップを僅かにひねるようにしてしっかり押し込んでください。

3. ニードルストッパー

使用後に針先が露出しないように針先に直接刺して廃棄します。



**【使用上の注意】

*1. 重要な基本的注意

- ・血糖測定を行う場合、ヨウ素を含む外用薬を使用した部位からの採血は避けてください。〔偽高値となるおそれがあります〕
- ・体外診断用にものみ使用ください。
- ・注射には使用しないでください。
- ・針が曲がっていないか、針先や針の取り付け具合に異常はないか確認ください。使用前にプランジャーの位置を確認ください。
- ・プランジャー内には特殊空気フィルターが入っており、空気は通過するが血液は通過しない密封構造になっています。しかし、強くプランジャーを押すと希に血液が少量プランジャー周囲に浸み出してくることがあります。これは、異常ではなく、測定データにも影響を与えません。
- ・汚染された針による針刺し事故には感染の危険性があります。
- ・使用後は医療廃棄物として、定められた規則に従い適正処理ください。
- ・1回限りの使い捨てです。本品を再使用するために加工すると機器の整合性に悪影響を及ぼすだけでなく、性能を低下させます。
- ・このパックの内部は全て滅菌済みの為、開封後は速やかに使用ください。使用前にパックを破損しないでください。
- ・開封前に包装を確認し、破れ、ピンホール等の異常が認められた際は使用しないでください。
- ・気泡除去を行なう場合は、必ずシリンジ外筒部分を持って実施ください。シリンジ先端部分は持たないようにご注意ください。

- ・試料（検体）はHIV、HBV、HCV等の感染の恐れがあるものですので、検査実施に当たっては、感染の危険を避けるために、適切な個人防護具（PPE：白衣、手袋、ゴーグル等）を着用ください。
- ・下記の場合エラーとなる可能性があります。
 - ・異常体温の際、測定値調整がなされていない場合
 - ・検体が静脈血、もしくは検体に静脈血が混合している場合
 - ・気泡は出来るだけ早く取り除いてください。気泡が入った検体は測定しないでください。
 - ・患者の異常体温を補正していない場合
 - ・患者が酸素吸入療法を受けている場合
 - ・ヘパリンとの混和が不十分な場合
 - ・採血中患者が過呼吸であった場合
 - ・検体が直ちに測定されなかった場合
- ・以下の患者には慎重にご使用ください。
 - ・抗凝固療法中の患者
 - ・高度の末梢動脈硬化症がある患者
 - ・凝固障害の既往がある患者
 - ・穿刺により動脈痙攣を起こしたことがある患者

***【保管方法及び有効期間等】**

- *保管方法：直射日光を避け、室温で保存ください。
有効期間（耐用期限）：滅菌包装紙表面を参照ください。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

- 問い合わせ先：
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
**TEL：03-3493-8400

- *製造販売元：
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

製造元：
スミス メディカル エイエスディー・インク
Smith Medical ASD, Inc (アメリカ)

輸入